

拝啓

五月、田植えの季節となりました。

又昨年末には大変申請がございました。

米農家さん達は、以前にも増してお忙い事になる
事と思っております。

昨日の報道等では、「田んぼオーナー制度殺到」と聴こ
えなれと言葉を聞きました。

私も改めて、昨年の家計簿を見ると、お米は1kgが600円
程度でいたが、今は、1kgの1000円近くの価格です。

1日も早く、安く、安く米を願うばかりです。

又田植えは、いつからでしょうか、田植えへのメッセージを同封
いたしました。宜しく、お願いいたします。 農各さん、七月に大忙しな
和太こまりをしたいと思います。早くにしたいと思います。

其後大柜所^{おおつち}に多大な支援をして下さりました。富田林^{ふの}にノミの種ミミを贈った事が原点となり、この事が「奇跡の後継米」へのルーツとなります。

生徒の皆さんも田んぼのぬかるみを体で感じ、ひと株く苗を植え、水やり、草取り、其後沢山の芋肉ひまをかけ日本の和食文化の米作りを体験して下さい。

終りに「奇跡の後継米」の豊作を願ひ、関係各位に感謝を申し上げます。あいなるといたします。

令和四年五月吉日

おおつち

山形県大柜所

たえ

菊池

妙

「奇跡の後継米、田植えによせて」

新緑の中、今年目の田植え、お目出とうござりまする。

また、昨年秋頃から、これ迄、あまり耳にする事のなかった「備前米」と言う言葉を報道等から聞くようになりました。

これ迄、お米の値段の変動もなく、ごく――当り前に食べていたお米の流通、そして値段を認識するの
昨今です。

話は変わりますが、今から4年前、東日本大震災で我家は津波にのまれ、跡形もなくなりました。

ところが、田んぼのない小さな漁師町に、津波後の秋、

我家の玄關跡地に、「やせた子株の稲」が育いたのである。

私達は稲作には素人ながら、遠野まごころネット様の協力で、とにかく少量収穫した事を懐く思いであります。